

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 文化産業観光部 課 文化振興課

施設名称	[5] 東京都台東区立一葉記念館				
指定管理者の名称	公益財団法人台東区芸術文化財団	指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31		

1. 指定管理者の概要

(1) 業務内容	芸術文化、区民文化、スポーツ文化に関する事業の実施 芸術・文化・スポーツ施設の管理運営
(2) 類似施設の管理実績	文化施設 5 箇所
(3) 経営状況	24年度決算 歳入 649,077,258円 歳出 572,606,613円 収支差額 76,470,645円 (区返納金56,470,645円次期繰越金20,000,000円) 監査の結果、事業報告書、決算報告書、決算付属明細書並びに財産目録は適正であった(内部監査報告書より)

2. 施設の概要

(1) 所在地	台東区竜泉 3-18-4
(2) 設置目的	樋口一葉は、竜泉寺町に住み、その体験を元に『たけくらべ』を執筆するなど、台東区にゆかりが深い作家である。その一葉に関する資料及び明治期の資料を展示公開することにより、区民文化の発展向上を図る。
(3) 利用者	区民ほか
(4) 開館日・時間	開館日：休館日（月曜日／12月29日～1月3日／特別整理期間等）を除く 開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）
(5) 規模	延べ床面積861.04㎡ 鉄筋コンクリート造地上3階地下1階、塔屋、展示室、収蔵庫、学芸研究室、展示準備室、事務室、エントランスギャラリー、倉庫、研修室、小会議室
(6) 人員体制	6名 常勤固有職員（1）派遣職員（1）再雇用（1）専門員（1） 財団嘱託員（1） 特例嘱託員（1）

3. 事業（サービス提供）の概要

(1) 委託事業	樋口一葉に関する資料を展示公開、施設の利用に関する事業。施設、付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓・その他環境整備などの事業。施設使用料徴収などの事業。文化ボランティアガイド事業。
(2) 自主事業	施設特別展・企画展（樋口一葉140年記念）、一葉生誕140年記念講演、一葉祭（記念講演・朗読、ボランティアと行く「たけくらべ」ゆかりの地めぐり）、特別講座ワークショップ、朗読サロン、文学講座、くずし字解説講座

4. 予算決算の推移

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	26,460,000	24,132,000	19,684,000	19,014,000	17,896,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	26,460,000	24,132,000	19,684,000	19,014,000	17,896,000
決算	委託料	18,132,017	16,286,787	12,614,691	14,331,580	15,957,861
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	18,132,017	16,286,787	12,614,691	14,331,580	15,957,861
	収支	0	0	0	0	0

5. 施設の稼働状況等（活動指標）

指標名称	単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数	日	297	300	304	301

6. 成果指標

指標名称	単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
入館者数	人	18,000	21,041	19,048	13,749

## 7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み

樋口一葉生誕140年記念企画として、一葉研究者の第一人者による記念講演や朗読と楽曲で構成するコンサートの開催など、魅力ある企画を展開した。また25年度にはすでにミニ企画展を3回開催しており、館のホームページはもとより、区のホームページのトップページに掲載するなど積極的なPRに努めている。

**8. 評価項目**  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.1]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[3]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[3]
	(c) 利用者数の目標達成	[1]		
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[2]

**9. 評価**  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未達）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	貴重な資料の保護に努めながらも、一葉生誕140年記念した様々な特別展等を行った。また、一葉作品の朗読と合わせたコンサートを行うなど新しい切り口での朗読サロンを実施し、積極的な事業を展開している。
(2) 施設の維持管理	A	備品及び物品の管理は適切になされている。また、西日対策としての「よしず」の設置など、経費節減とともに環境に配慮した施設の維持管理に努めている。
(3) 利用者の満足度	B	ボランティアによる館内案内や地元町会と連携した一葉祭でのゆかりの地めぐりなどは大変好評である。また感想ノートの設置など来館者の声の把握・反映に努めた。生誕140周年企画など積極的な事業を展開したが入館者の増には至らなかった。
(4) 収入支出	A	予算については概ね適切に執行されている。

**10. 総合評価** 良好 妥当 要努力 要改善 不適

**要努力**

地元町会や文化ボランティアと連携した企画展や新しい切り口での朗読サロンなど積極的な事業を展開しているが、入館者数が減少傾向にあるため、入館者数の増加に向け、今後も一層の努力が必要である。

## 11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応

すでに実施しているミニ企画展や一葉祭における「たけくらべ」直筆原稿の特別展示など、魅力ある展示企画を行うとともに、今後も積極的なPRに力を入れ、入館者の増を目指していく。